



23年間役場の
掃除をしています!

詳しくは25ページへ



RifuTown
assembly

9月定例会

- 議会報告会 2
 - 行政区長会と意見交換
- 決算審査 4
 - 皆さんの税金は適正に使われたか
- 議会ってナニ? 24
 - 議会の役割・仕事の流れ
- いきいき活動 26
 - 利府町建設災害防止協議会を紹介

議会だより



第 The
11th
11 回

議会報告会

開かれた議会を目指して

行政区長会と意見交換

利府町議会議場で開催

利府町議会では、「顔が見える議会」「開かれた議会」を目指し、議会報告会を開催してきました。第11回となる今回は、行政区長の皆さまにご参加いただき、令和8年度一般会計予算の審議概要と議会活性化に向けた取り組みを報告しました。特に、議会活性化の取り組みの一環として検討を進めている「議員報酬の見直しへ」は、行政区長の皆さまから率直なご意見をいただきました。また、町政や自治会運営をテーマに意見を交わし、地域の実情や課題を共有する貴重な機会となりました。



回覧板のデジタル化や子ども会の存続などを意見交換。



行政区長になったばかりだったので、他の行政区長の意見を聞きながら議員の意見も聞くことができ、とても参考になりました。

青葉台地区
星行政区長



生の意見で協議する機会
は大切です。これからも
続けてください。

野中一部地区
高橋行政区長



町内会未加入者の課題を共有しました。



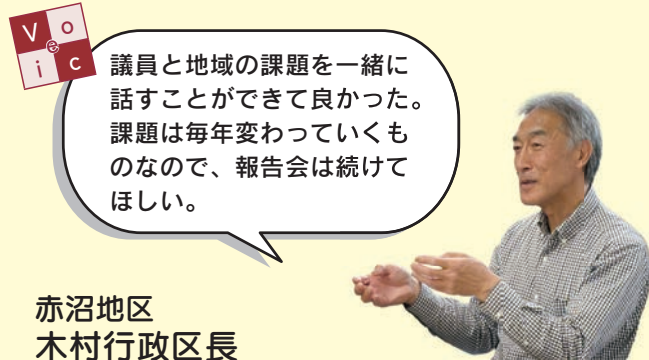
春日一部地区
引地行政区長



学校や地域活性化に向けた意見も伺いました。



高齢者福祉、町内会運営の課題も意見交換。



赤沼地区
木村行政区長

V o i c e 地域の課題や町への意見

●地域交流

- 子ども会や地域団体の解散・縮小で交流コミュニティ規模が小さくなってきている。
- 高齢化と交流機会の減少で、今後、夏祭りや地域の行事が継続できるか心配。

●クマ対策

- スマホを持っていない人にはクマの出没情報が入手しづらいので対策をしてほしい。

●環境美化

- 不法投棄への抑止として、防犯カメラを設置してほしい。
- 旧東北本線藤田川橋梁が国の登録有形文化財になったので、きれいに管理してほしい。

●町内会運営

- 役員のなり手がいなくなってきている。
- 町内会に委託されている行政文書の配布物が多く、負担が大きい

●草刈り

- 地域で町道の草刈りを行っていたが、高齢化で手が回らなくなっている。

●ごみ収集

- ごみ集積所に地域外の人が粗大ごみなどを廃棄している。対策を強化してほしい。

●高齢者への助成

- 補聴器の購入助成が始まったが、補聴器は高額。さらなる助成を期待したい。
- 高齢者の居場所づくりをしている団体への助成をもっと増やしてほしい。

●まちづくり

- 集会所の建て替えや大規模な改修は多額の費用がかかる。人口減少に向けて、町からの支援拡充を検討してほしい。

●議会

- 各委員会の調査内容、行政視察で得た事例、政策提言等を分かりやすく発信してほしい。
- 部分的には議員の活動は見えている。もっと見える化するべき。

V o i c e 議会報告会のアンケート

●議員報酬増額への意見

- 増額するのであれば、根拠を明確にすべき。増額は理解したいが議員定数2名の減が必要では。
- 議員を一種の職業として捉えるかどうかで意見が変わるが、判断が難しい。
- 物価も上がっている。時代に合わせて増額するべき。

●参加されてのご意見

- しっかり町政へのチェック機能を発揮してほしい。
- 議会の見える化を継続してほしい。

高齢者元気アップポイント事業

45
万円

65歳以上の方で、町が指定した健康づくり活動に参加・取り組んだ場合にポイントが付与され、1000ポイントを達成した方にTシャツ等の記念品が贈られました。令和7年度は、オープニングイベントとしてイオンモールウォーキングイベントが開催されました。



防災アプリ「まもりふ」

「まもりふ」の登録数は2,800人(令和8年8月時点)になりました。

138
万円



住民の
声



まるやま たかし
丸山 隆 さん

最近、大雨やクマの出没などで日常生活が脅かされています。地域への迅速な情報伝達が重要です。

令和7年度 決算 注目事業

議会が注目した事業を紹介します。

決算額は、令和7年度のための金額であり、全体事業費ではありません。複数年事業のものもあります。

夢チャレンジ事業

218
万円

スポーツ活動や助産師になりたいなどの夢を応援。22件に補助されました。



すだ ゆうか
須田 優佳 さん

活動をより多くの方に届けるホームページを作るため応募しました。この挑戦をきっかけに、今も新たな夢へと歩み続けています。

住民の
声

世代間交流事業「リフレンド」

59
万円

こどもたちの地域とのつながりを目的に、自由遊びなどを体験。小学生を対象に10回開催されました。



やまぐち はるみ
山口 治美 さん

子どもたちと楽しい時間を過ごし、元気をもらっています。世代を超えたつながりの大切さを感じています。

住民の
声

こどものまちinりふ

子どもたちが仮想の町で働いたお金で買い物などをするイベント。185人の子どもたちが参加してくれました。

142
万円



こばやし まや
小林 摩耶 さん

子どもたちが仕事の仕組みを楽しく体験できる素敵なイベント。第一回目の姉兄参加から時を経て妹たちも楽しく参加しました。

旧東北本線(山線)普及啓発用映像制作

春日地区の藤田川橋梁が文化財に指定されることに伴って、普及啓発のための映像が制作されました。

49
万円



立地適正化計画策定事業

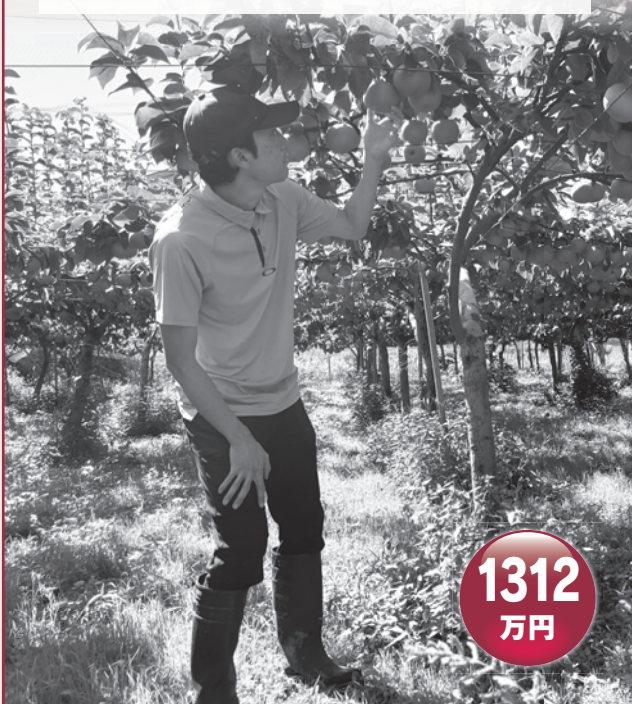
コンパクト＋ネットワークの考え方により、持続可能な都市構造へと誘導していく計画です。
住民アンケートや空き家調査が計画策定のために実施されました。

818
万円



新規就農者支援

就農開始資金3件、新規就農者及び農業経営の継承者の機械購入に対して、それぞれ1件助成されました。



1312
万円

スマホ教室

誰一人取り残されないデジタル化の実現に向けて、スマホ教室を19回開催し、延べ91名の町民が参加しました。



算

皆さんの税金は

適正に使われたか

一般会計 **155億5520万円** 令和6年度比1.1%増

万博国際交流プログラム

万博に行ったの？

問 当初の説明では、1年目は町の関係者がガーナへ行き、2年目は、児童生徒が大阪万博へ行く、3年目はガーナの子ども達に利府町に来てもらう計画だった。児童生徒は、大阪万博へ行ったのか。

答 万博のガーナの展示ブースは常設ではなく、調整が困難だったため、当初の予定を変更した。

問 利府の子どもたちに万博へ行ってもらうことが一番の柱だったのでは。

答 ギリギリまで調整していた。理解してほしい。

旧役場跡地ワークショップ

今後の進め方は？

問 200万円を使ってワークショップを開催した。今後どのような形で進めるのか。

問 5案を一つに絞っていくのか。

答 1案に絞っていく状況ではない。様々な可能性を探っていく状況である。

答 プレイスデザインワークショップを、全7回開催した。そこでまとめられた提案書と5つの案に基づくイメージ図を、今後、検討委員会で実現の可能性などを議論していく。

世代間交流事業

交流内容は？

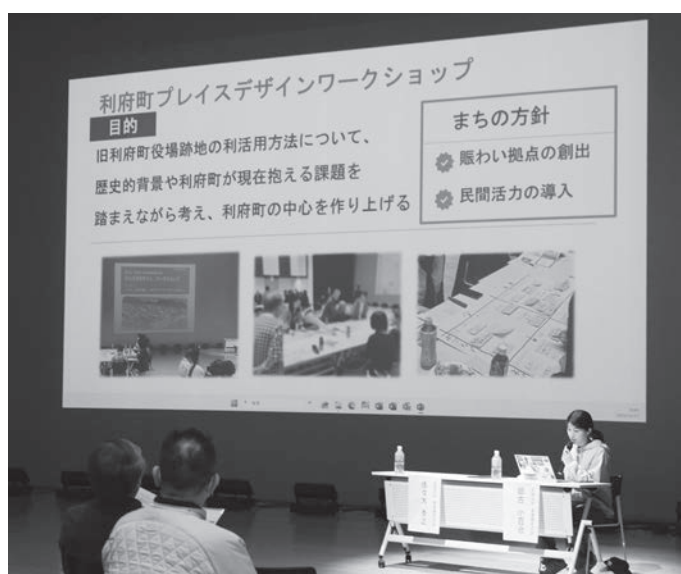
問 交流内容を伺う。

答 小学生を対象に地域とのつながり作りや、子どもの居場所づくりを目的に開催している。「リフレンド」は、土曜日に総合体育館サブアリーナで各種体験活動や講座、自由遊びを組み合わせたものを行っている。「サン・ペア・クラス」は、平日放課後に空き教室を活用して活動している。

令和7年度は、第三小学校、青山小学校で実施し、令和8年度から菅谷台小学校でも開始した。

問 子どもたちの反応はどうか。

答 アンケートでは、「他の小学校、地域の人と話ができ良かった」、「人前で話ができるようになった」、「また来年も参加したい」との回答があった。



みんなが望む跡地の活用を

決算審査特別委員会で 徹底審議

令和

7

年度

決



鈴木 忠美 委員長

令和7年度の一般会計及び各特別会計・企業会計の決算は、決算審査特別委員会(委員長・鈴木忠美)を設置して集中審議を行いました。町政全般にわたり多くの質疑がありました。その中からいくつかをお知らせします。

職場環境改善

附帯意見は反映したか？

問 当初予算時、全ての職員が恩恵を受ける職場環境となるよう、精査を求める附帯意見を議会で付した。どの様に受止めて予算執行に反映したのか。

答 令和8年2月に総務課をモデルフロアに設定し、改修等を行った。このフロアを全ての職員に体験してもらい、それぞれのフロアで採用できるかを検討している。

問 議会が付した意見は、「職員が求める職場環境改善は何かを精査してほ



しい」ということだ。昼食時の環境などを職員がどう考えているのかを精査してほしい。

問 527万円の決算である。どこの事業所に業務を委託したのか。

答 障がい者及び家族の相談支援中核的な役割を担う機関として、2市3町で契約をしている。地域の施設では受入れが難しい方の相談対応をしている。

障害者地域生活支援センター事業 地域生活支援拠点障害者相談支援

支援相談は何件？

問 支援相談は何件あったのか。

答 障がい者は延べ387件、障がい児は113件の相談があったと報告を受けている。

セカンドライフ応援助成金

どんな応援したの？

問 どのような申請があったのか。

答 15人の申請全てに交付したが、一人辞退があった。内容的には、新たな資格や免許の取得、趣味の拡充などである。

問 申請が認められないのはどのようなケースか。

答 受講であれば、直接指導を受けることが条件で、自己学習は対象にならない。上限5万円だが、異なる年度で申請して合計2回まで申請できる。

まちづくり支援・夢チャレンジ事業補助金

どんな団体を支援？

問 まちづくり支援事業で補助金を4つの団体に交付している。内容はどのようなものか。

答 公益活動に対する補助として、世代間交流を目的とした団体や、梨に次ぐ特産物開発、スポーツ活動団体などに交付した。

返礼品開発支援

開発につながったの？

問 5件の事業者に2260万9000円の補助をした。事業者ごとの金額と内容は。

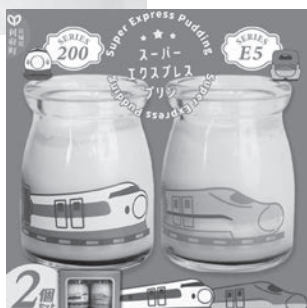
答 牛タンと煮魚の設備導入のため、それぞれの事業者に1000万円、新幹線をモチーフにしたプリン開発事業者に100万円、ハニーアイスを開発した事業者に100万円、利府梨を用いた飲む酢を開発した事業者に6万9000円補助金を交付した。

問 実際に商品として活用できているか。

答 返礼品として提供をできるよう総務省に申請中のものがある。設備を導入したことで返礼品の提供価格を抑え、寄附につなげている。

問 設備導入に現地確認はしているのか。

答 実績報告に基づき確認している。



事業を利用して開発された商品

地域食堂

利用状況は？

問 地域食堂は3団体が助成を受けている。それぞれの開催回数と参加者数は。

答 葉山地区と赤沼地区はそれぞれ3回、青山地区はその倍くらいの開催である。参加者は、いずれの地区も毎回20人から30人程度である。

問 町は、事業の成果をどのように評価しているのか。

答 どの地区においても、世代を超えて楽しく交流している。地域の支え合いという点からも、有効な取り組みであると捉えている。



楽しい交流がさらに広がることに期待

水泳授業指導

他の学校も町民プールで？

問 第二小学校の児童を対象に町民プールを活用し外部指導を行った。児童、保護者、教員の意見や感想はどうか。

答 専門の指導員からグループごとに指導を受けることができ、有意義であったとの意見であった。
問 今後、他の小中学校に広めていく考えはあるのか。

答 町のバスでの送迎を考えているため、徐々に増やしていくしかない。

問 移動などさまざまな課題はあるが、教員の業務量を削減できる。前向きに考えてもらいたい。

答 学校のプール施設は維持管理に経費がかかるため、課題をクリアしながら進めたい。



クマ被害防止

ドローン調査の結果は？

- 問** クマ生息状況のドローン調査の結果はどうか。
- 答** ドローン調査でクマの発見には至らなかった。菅谷の明神沢ため池の敷地、グランデイ・21周辺、浄水場敷地で飛行したが赤外線サーモグラフィ撮影で小動物を捉えるにとどまった。
- 問** 地域を変えて実施する必要があるのでは。
- 答** 場所と時期は、検討して見直す。
- 問** クマによる人身被害が他県で相次いでいる。町民を守る方策は。
- 答** 目撃情報をLINEと「まもりふ」で周知している。また、各学校とも連絡体制は取れるようになってきている。

有害鳥獣駆除対策事業

成果は？

- 問** 鳥獣被害対策実施隊報酬が14人で7万8000円とある。活動内容と成果は。
- 答** カラスの駆除、クマ、イノシシ対策で捕獲用おりの見回り、わなの設置、駆除、死骸の処理をお願いしている。
- 問** 緊急銃猟の場合は別途報酬を支払うのか。
- 答** 発動した例はないが、別途報酬は発生する。三人体制で対応を予定しており、一人日当1万円。捕獲した場合、一人2万円で合計3万円になる。
- 問** イノシシは、何頭駆除したのか。
- 答** 25頭駆除した。

新中堀新川崎線

誘導する看板はつけないの？

- 問** 3月に新しく開通したが知らない人も多い。イオン方向へ誘導する看板は、設置しなかったのか。
- 答** 現状は設置していない。
- 問** 開通する事で利府街道の混雑緩和が見込めるとの説明があった。誘導看板が必要ではないか。
- 答** 今後道路の交通状況を見ながら検討したい。



水道包括的民間委託

委託の効果は？

- 問** 包括的民間委託後、初めての決算となる。事前に説明されていた民間委託のメリットがどこまで反映されたのか具体的に示してもらいたい。
- 答** 決算書においては、そこまで効果は表れていないが人件費は減少している。
- 問** 民間委託のメリットは。
- 答** 補助金・交付金は※ウォーターPPP導入が交付要件となっているためメリットがあると捉えている。



混雑緩和に利用してほしい新道路

※ウォーターPPP=水道事業の維持管理・運営業務をまとめて民間の事業者へ委託する手法

反対

町民の暮らしを優先した財政運営を



金 萬 文雄

暮らしを支える多くの事業は評価するが、町民の要望や期待に応えきれない施策や懸念する施策がある。①基金は適正な規模とし町民が要望する事業に充てること②観光費や地域振興費の9億円以上の支出が町民の暮らしや地域活性化に反映されているのか疑問③DX事業の3億円以上の支出は費用に見合ったサービスや業務向上の効果が見えない④带状疱疹ワクチン接種費用が県内で最も高いが2市3町協議に努力するべき。⑤教育資金利子補給事業の利用者が3名と減少傾向で町民のニーズに合致していない。以上の点で反対する。

賛成

各分野で着実に事業が実施された



高 木 綾子

令和7年度は、防災・公共交通、スポーツ・文化、子育て・教育、福祉、地域産業など各分野で事業が着実に実施され、一定の財政健全性も維持された。町債借入額が令和6年度より減少するなど、将来を見据えた財政運営も進められた。一方、各分野で外部委託の割合が高いことから、費用対効果や成果、行政内部への知識・ノウハウの蓄積、事業者選定の妥当性を継続的に検証する必要がある。今後も健全な財政運営を堅持し、町民福祉の向上につながる効果的な事業推進を求め賛成する。

反対

負担軽減の検討を



金 萬 文雄

国保事業は、健康と福祉を増進する施策であることは認めるが、経済的に厳しい町民生活への配慮が必要。国保税は令和6年度に比べ増となった。さらに、令和8年度より「子ども・子育て支援金」導入や高額療養費の自己負担の月額上限基準額の引き上げがあった。国保税の負担は、町民の生活を維持するためには支払える限界にまで来ている。税の引き下げを国や県に求めるべき。また、滞納者へは、これまで以上に暮らしを優先した納税相談を行うこと。以上の点で反対する。

賛成

必要な事業を実施し基金も確保



郷 右 近 佑 悟

税率を据え置きながら収納率も維持し、必要な事業を実施した。今後の財政運営に備えた基金も確保されている。基金は積立てを目的とせず、将来の急激な税負担の増加を抑えるなど、被保険者のために有効活用することが重要である。特定健診や生活習慣病の重症化予防などの保健事業は、担当部署との連携と成果検証を進め、健康寿命の延伸と医療費、国保税負担の抑制につなげることを望む。今後も被保険者の負担に配慮しながら、持続可能で安定した事業運営に努めることを求め賛成する。

令和8年9月定例会 7年度各種会計決算 採決状況一覧 ○賛成×反対 議長(永野 渉)は採決に加わらない。

議 案		郷 右 近 佑 悟	皆 川 祐 治	伊 藤 司	鈴 木 晴 子	須 田 聡 宏	高 木 綾 子	金 萬 文 雄	土 村 秀 俊	鈴 木 忠 美	羽 川 喜 富	浅 川 紀 明	今 野 隆 之	小 淵 洋 一 郎	高 久 時 男	永 野 渉	議決結果 (賛成:反対)
認定第1号	一般会計	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	—	認定(12:2)
認定第2号	特別会計	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	—	認定(12:2)
認定第3号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	認定(14:0)
認定第4号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	認定(14:0)
認定第5号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	認定(14:0)
認定第6号	企業会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	認定(14:0)
認定第7号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	認定(14:0)

決算を除く議案の採決状況は、16ページに掲載しています。

空調と受変電設備を改修

庁舎の空調設備や受変電設備を更新し、地下の設備を屋外に設置する工事です。
契約に際して請負金額は11億3300万円で工期は令和12年1月31日までです。

問 工期が3年間と長期だが、この期間は妥当か。
答 作業は、エアコンを使用しない春先や秋口に行う。また、休日などの業務に影響がない時間帯に行うなど、工期は十分に精査した上で設定している。

問 国の助成制度の活用は検討したのか。
答 補助金を検討の上、地方債を活用する。



庁舎地下にある受変電設備を地上に移動します

決算審査意見

適正執行を評価 収入未済額縮減へ 取り組みを

令和7年度の決算は令和6年度に比べ、一般会計及び各特別会計の歳入総額が0.3%、歳出総額が0.9%の増加であった。審査した結果、計数は正確であると認められた。

収入関係では、町民税（個人）の収入が増加したことと令和6年度に実施された国の経済対策による定額減税が終了したことにより、町税全体で、令和6年度に比べ約3億7706万円増加した。

収納対策として、休

日・夜間相談窓口の開設、徴収員の活用や納税者の利便性の向上を目的としてアプリ収納による収納方法の推進等の徴収努力が認められた。今後とも税の公平、公正の観点から、適切な収納対策を講じることを期待する。

ふるさと納税制度の寄附金では、主力商品の競合や、物価高騰に伴い、全国的に米や日用品の需要が増えたが、利府町ではこれらの取扱いが少なく、令和6年度より4312件、約8152万円

減少した。今後も適切な管理と運用に努めてもらいたい。

収入未済状況は、町税で令和6年度に比べ約6360万円増加している。物価高騰による社会情勢等が影響しているものと推測するが、今後も収入未済額縮減の取り組みに努めてもらいたい。

支出関係では、適正に執行されていた。今後も、より一層の予算の有益な活用を望む。



監査委員
土村 秀俊



監査委員
庄司 英夫

1462万円

令和8年度
一般会計補正予算

2億7227万円を追加し

総額 **159億円**

令和8年度一般会計予算に2億7227万円追加し総額159億7577万円とするものです。

■一般会計の主な補正予算項目

債務負担行為の補正（追加）

事業名	期間	限度額	理由
町民バス運行業務事業	令和9年度から11年度まで	1億4331万円	継続運行するため
児童クラブ運営業務土曜日開所延長事業	令和9年度から11年度まで	552万円	年度当初から開始するため

歳入（収入）

項目	補正額	理由
ふるさと応援寄附基金繰入金	+1019万円	浜田まちづくり協議会への負担金増額のため
町債	+1460万円	新中堀・新川崎線排水路改修事業
デジタル活用推進事業債	+510万円	小中学校のネットワーク環境改善のため

歳出（支出）

項目	補正額	理由
こども・若者意見聴取業務委託料	+10万円	「利府町こども計画」推進にあたり子ども・若者の意見聴取を行うため
浜田まちづくり協議会負担金	+1019万円	浜田地区の振興に向けた基本計画策定業務を支援
農業用施設等維持補修工事	+548万円	ため池及び堰の補修を行うため
ゼロカーボンチャレンジ事業	+355万円	予算上限に達したため中止していた省エネ家電買い替え補助を再開
産後ケア業務委託料	+283万円	利用回数の上限を増やすため



豪雨に備えた排水路整備を

歳出
1462万円
増

新中堀新川崎線用
排水路改修実施
設計業務委託料

問 事業の概要は。

答 令和8年3月に開通した新中堀新川崎線の用排水路を改修するため、実施設計業務を行う。

問 のり面の部分は周辺の区画整理が行われる前提で地権者から借地していたと聞いている。この部分を取得する予算も含まれているのか。

答 土地の取得は来年度以降に予算計上を予定している。

新中堀新川崎線用排水路

歳出
1019万円
増

浜田地区まちづくり協議会負担金

問 協議会が、浜田地区まちづくり基本方針に掲げる商業エリアの振興に向け、基本計画を策定するとの説明である。その計画策定の業務委託に相応な資金を支援する以上、町としても今後の事業化を見据え、責任を持って取り組む必要があると考えるが。

答 この地区の取り組みが成功することで、他の地区への波及効果も期待できる。町としても全力で進めていきたい。



絶景も観光資源に

歳出
15万円
増

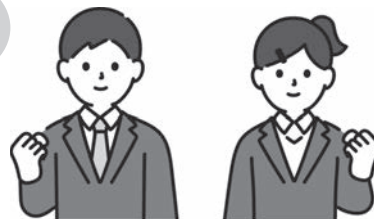
※ユースカウンスル事業協力者謝礼

問 どのような人に依頼するのか。

答 大学生に依頼したいと考えている。包括連携協定を結んでいる6つの大学を中心に声をかけたい。

問 若者の意見を聞いた後の展開は。

答 意見は政策提言などとして提案していきたいと考えている。本格的な運用は令和9年度以降になると想定している。



歳出
10万円
増

こども・若者意見聴取業務委託料

問 委託の内容は。

答 「利府町こども計画」では、計画の推進にあたり、子ども・若者の意見を反映するとしている。率直な意見を聴く場を設けるため、子ども・若者に関わりのある事業者等へ委託する。対象は、町内在住の小学5年生から30歳未満の人である。

問 ジュニアリーダーが進行役を担うなど、子どもたちが意見を出しやすい場となるよう工夫しては。

答 参考にしたい。



※ユースカウンスル＝若者が主体となって地域や行政の課題を話し合い、まちづくりや政策提言する仕組みのこと

令和8年9月定例会 採決状況一覧

○賛成 ×反対 議長(永野 渉)は採決に加わらない。

議 案	郷 右 近 佑 悟	皆 川 祐 治	伊 藤 司	鈴 木 晴 子	須 田 聡 宏	高 木 綾 子	金 萬 文 雄	土 村 秀 俊	鈴 木 忠 美	羽 川 喜 富	浅 川 紀 明	今 野 隆 之	小 渕 洋 一 郎	高 久 時 男	永 野 渉	結 果 (賛成：反対)
報告第9号～12号	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
議案第49号～59号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決(14:0)

令和7年度各種会計決算(認定第1号～7号)は12ページに掲載しています。

令和8年9月定例会提出議案 22件(報告4件、認定7件、議案11件)

報告9 専決処分

役場駐車場にて職員が公用車を駐車していた車両に接触し損傷を与えたこと、また、町道を走行中の車両が道路の窪みで車両の一部に損傷を与えたこと。それぞれ相手方と和解し専決処分したことを報告

報告10 健全化判断比率及び資金不足比率

監査委員の意見を付けて、令和7年度の健全化状況を報告

報告11 放棄した債権の報告

水道料金の債権放棄を報告

報告12 専決処分

保健福祉センター敷地内にて職員が除草作業中に石が飛び、駐車中の車両の一部に損傷を与えたこと、また、町道を走行中の車両2台が道路側に倒れ掛かっていた木の枝に接触し車両の一部に損傷を与えたこと。それぞれ相手方と和解し専決処分したことを報告

議案49 特別職職員で非常勤の報酬及び費用弁償に関する条例の改正

令和8年10月1日から本格運行する利府町版mobiの運行主体が地域公共交通会議となるため、当該会議委員の報酬及び費用弁償の額を定める改正

議案50 町営住宅条例の改正

八幡崎住宅の完成に伴い、維持管理する共益費の徴収、駐車場の月額使用料、集会所の名称及び位置を定める改正

議案51 令和8年度一般会計補正予算

2億7227万2000円を追加し、総額を159億7577万4000円とする

14・15ページに掲載

議案52 令和8年度国民健康保険特別会計補正予算

126万円を追加し、総額を32億4924万5000円とする

議案53 令和8年度介護保険特別会計補正予算

1億391万4000円を追加し、総額を27億3100万7000円とする

議案54 令和8年度後期高齢者医療特別会計補正予算

910万9000円追加し、総額を5億2761万4000円とする

議案55 令和8年度町営墓地特別会計補正予算

12万6000円を追加し、総額を1174万4000円とする

議案56 令和8年度水道事業会計補正予算

収益的収入を3万3000円増額、支出を1万2000円増額。資本的収入を816万6000円減額

議案57 令和8年度下水道事業会計補正予算

収益的収入を51万円減額、支出を17万1000円増額。資本的収入を678万円減額

議案58 工事請負契約の締結

長寿命化計画に基づき、庁舎の空調設備や受変電設備を更新

13ページに掲載

議案59 和解について

町道側溝のグレーチング蓋が盗難にあい警察へ被害届を提出した。被疑者が逮捕され、被疑者の弁護士より弁償の和解案が提示されたことから、和解することの議決

一般質問

我が町政を問う

小淵 洋一郎 P18

- 避難所の環境改善
- 通電火災対策

金萬 文雄 P18

- 地域防災計画の見直し
- 避難所の環境整備

浅川 紀明 P19

- 学力向上の教育
- 自治体DX推進
- 芸術文化のさらなる振興

郷右近 佑悟 P19

- 農業用ため池の安全管理
- 環境美化への取り組み

土村 秀俊 P20

- 入札制度
- 利府町こども計画の推進

鈴木 晴子 P20

- 持続可能な農業基盤の維持管理
- スポーツ振興による地域活性化
- 中学校の楽器の適切な管理

一般質問とは議員が町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針を聞き、疑問点を質^{ただ}すことです。本町議会の質問時間は、1人30分以内で、答弁時間は含みません。

質問と答弁を要約した内容は、18ページから20ページです。質問項目の3項目以降はこのページでタイトルのみの紹介です。なお、全文記録(議事録)は12月中旬に利府町議会ホームページに掲載しますのでご覧ください。





おぶち よういちろう
小淵 洋一郎



質問者の動画が見られます

通電火災対策

なぜ
質問？

通電火災は感震ブレーカーで防ぐ
地震発生後に電力復旧した際、感震ブレーカーで倒壊家屋からの出火を防げる可能性があります。普及が重要と考え、質問しました。

問 感震ブレーカーの設置推進を

答 周知広報に努めたい

問 地震を感じて電気を遮断する感震ブレーカーを設置を推進すべきでは。
答 重要と認識しているが、まずは有効性の周知に努めたい。
問 以前の防災マップには地震対策の中で避難の際に電気のブレーカーを下ろすことが明記されていたが、現在のマップには記載がない。
答 通電火災の危険性を、さまざまな媒体で周知していきたい。



議員のつぶやき…

いつ発生するか分からない内陸直下型地震に備え、防災・減災対策が必要です。

避難所の環境改善

なぜ
質問？

避難所の熱中症対策

助かった命を災害関連死等で失うことがない様に、避難所となる小中学校体育館に空調を整備する熱中症対策が重要と考え、質問しました。



避難所にはエアコンが必要

問 避難所の熱中症対策として学校体育館の空調設備を、計画的に整備していくべきでは。
答 設置費用が膨大なため困難である。避難時にはスポットクーラーをレンタルする。
問 国の教育環境改善の補助を活用すべきでは。
答 補助率の引き上げなどを国に要望していく。

問 国の制度を活用して空調の整備を
答 設置費用が膨大で困難である



こんまん ふみ お
金萬 文雄



質問者の動画が見られます

避難所の環境整備

なぜ
質問？

避難所の熱中症対策

令和8年熊本地震では、避難所の熱中症対策や居住環境が課題になりました。そのことから小中学校体育館避難所の環境整備を求めました。

問 猛暑対策グッズの備蓄を

答 導入の必要性を検討する

問 国は避難所機能を強化するため、体育館の空調設置を半額助成している。計画しないのか。
答 多額の費用を要するため、困難である。
問 猛暑対策グッズや段ボールベッドの備蓄を。
答 対策グッズは導入の必要性を検討する。段ボールベッドは保管・管理の課題があり現時点では考えていない。



議員のつぶやき…

防災避難計画は臨機応変に更新し迅速な周知が必要です。

地域防災計画の見直し

なぜ
質問？

直下型地震に備えた防災計画の改定

県が行った「長町一利府断層帯の調査」では、町の被害想定が詳細に報告されている。直下型地震に対応した防災計画が求められています。



災害に備えて防災マップの確認を

問 県が行った最新の地震被害想定調査結果を利府町防災計画に反映しているか。
答 改定後の公表だったので、反映していない。
問 更新予定はあるか。
答 県の調査や国の防災基本計画、能登や熊本地震を踏まえた計画改定を、令和9年度中に行いたい。

問 県の被害想定を町の防災計画に反映を
答 令和9年度中には更新したい

一般質問



あさかわ のりあき
浅川 紀明



質問者の動画が見られます

学力向上の教育

なぜ
質問？

教育でも選ばれる町へ

全国学力調査の結果は芳しくないと思います。総合計画には学力向上関連の記述が少なく、さらに力を入れて、教育でも選ばれる町にと考えました。



質問者本人がAIで作成しました

問 教育のまちを目指しては
答 引き続き重要な柱として取り組む

問 学力向上への教員指導改善の取り組みは。
答 教育推進委員会の指導員会議で課題を分析し、授業実践に反映している。
問 「教育のまち利府町」を目指し、教育を重点政策に位置づけては。
答 総合計画に位置付けている。引き続き教育活動や教育環境の充実を重要な柱として、実現に向けて取り組む。

※1 標準準拠システム

国が定めた共通の仕様に合わせて作られた、地方自治体の情報システム

※2 孟母三遷（もうぼさんせん）

子どもの教育には環境が大切であるとの故事成語

自治体DX推進

なぜ
質問？

DXを確実に推進

国は自治体情報システムの標準化やクラウド化を推進中です。将来の行政需要増大に備え、DXは安全に推進する必要があります。

町のDX推進状況は

答 標準準拠システムへの移行は完了

問 令和8年度DX推進計画の進捗状況は。
答 標準準拠システムへの移行は完了した。住民基本台帳等の16業務がガバメントクラウド上で稼働中である。
問 サイバーセキュリティへの取り組みを伺う。
答 町の情報セキュリティポリシーに基づき対応。職員研修も実施している。



議員のつぶやき…

※2 孟母三遷（もうぼさんせん）の諺もあります。学力向上で「教育のまち利府町」の認知度を上げましょう。

一般質問



こうこん ゆうご
郷右近 佑悟



質問者の動画が見られます

農業用ため池の安全管理

なぜ
質問？

異常気象と地震に備えた管理を

農業用ため池は、農業に欠かせない水源です。豪雨や地震による決壊などのリスクもあり、今後の管理を質問しました。



ため池は豊かな生態系も形成

問 防災重点農業用ため池の安全管理は
答 継続した点検・補修を行う

問 県指定の防災重点農業用ため池の防災工事は、令和14年以降に着手するものがほとんどである。着手するまでの対応と安全管理はどうするのか。
答 大雨などによる決壊に備えて点検や補修を継続的に行うとともに、水量を適切に管理して、安全管理に努める。

環境美化への取り組み

なぜ
質問？

きれいな町へ一丸となって

町が発展して賑やかになる一方で、残念ながら、ごみのポイ捨て等が絶えない場所があります。他人事で終わらせない町に向け質問しました。

環境美化推進条例を見直しては

答 見直しが必要と認識している

問 利府町環境美化の推進に関する条例は制定から40年以上経過している。町民の環境美化意識がより醸成される時代に合った内容に見直しは。
答 現在の実情に即してない部分もあり、見直しが必要と認識している。今後、検討していく。



議員のつぶやき…

条例が生まれ変わって、皆さんとキレイな利府を残していきたい。

利府町こども計画の推進

なぜ質問？

子どもの貧困対策

中東情勢や円安による物価高騰で、暮らしへの影響が深刻な中、子どもの貧困も課題です。「こども計画」に掲げる貧困対策を質問しました。

問 子どもの貧困対策の取り組みは

答 町独自の経済支援事業で対策していく

問 利府町こども計画には子どもの貧困対策として28の事業がある。実施することで、貧困の解消に繋がるのか。

答 計画策定のアンケートで、子ども医療費助成や入学支援事業など高評価だった。この町独自の経済支援事業は貧困解消にも繋がるものと認識している。



議員のつぶやき…

入札の質問は3回目だが、町は改善に努めてきた。今回の提言もぜひ検討してほしい。

入札制度

なぜ質問？

入札制度の改善が必要

公共事業の入札には、公正性・透明性の確保、不正や談合の防止、適正価格での発注が求められるため、町の入札制度の改善への取り組みを質問しました。



公正性、透明性の確保が重要

問 入札の予定価格の事前公表を実施する自治体が増えている。町は検討する考えはあるか。

答 透明性や情報漏えいなど不正行為を抑止する効果はある。しかし、談合の助長や競争の制限、価格の高止まりなどの弊害も生じかねない。町では国の要請に応じ、事後公表としている。

問 入札の予定価格を事前公表に変更を
答 国の要請に応じ事後公表とする



つちむら ひでとし
土村 秀俊



質問者の動画が見られます

スポーツ振興による地域活性化

なぜ質問？

「スポーツのまち」としての組織構築

スポーツと観光、部活動地域移行などを一体的にマネジメントする組織が「スポーツのまち」として必要と考え、提案しました。

問 マネジメント組織の構築が必要では

答 組織の構築に向け検討を進めていく

問 地域スポーツを一体的にマネジメントする組織の構築が必要では。

答 国も、自治体やスポーツ団体、民間企業等が連携して、地域スポーツコミッションの設立と活用を推進している。組織の構築に向け、検討を進めていく。



議員のつぶやき…

学校の楽器修繕の財源として、ふるさと応援寄附金活用も提案。充当に向け頑張ると。

持続可能な農業基盤の維持管理

なぜ質問？

地域の力だけで維持は困難

高齢化や担い手不足が進む中、農道や水路などを、地域の力だけでの維持管理が難しくなっています。そのため質問しました。



農地の維持管理へ支援を拡充

問 ※多面的機能支払交付金の対象となる農業者等の意向を確認し、制度活用の取り組みを進めては。

答 慎重かつ丁寧に説明を行い、本制度の活用を促していく。

問 対象とならない水路へ、町独自の支援構築を。

答 実行組合等の協力を得ながら、維持管理体制の構築に努めていく。

問 多面的機能支払交付金制度の活用を
答 制度の活用を促していく



すずき はるこ
鈴木 晴子



質問者の動画が見られます

※多面的支払機能交付金
農地や水路、農道などを地域のみんなで守る活動
に対して、国・自治体が支援をする制度

議会活性化特別委員会

視察で学んだことを利府町議会の改革へ

北海道3議会と七ヶ浜町子ども議会を視察

●住民の声を政策につなげる

帯広市議会では、重要政策の根拠、代替案、財源、将来コスト、政策効果などの資料を求め、請願・陳情の提出者から直接意見を聴いていました。栗山町議会では、町民と議員が自由に意見交換する「一般会議」を行い、調査や政策提言の入口として活用していました。



中学生が活発に政策提案を議場で行っていました
(七ヶ浜町議会)

●審議と一般質問の質を高める

栗山町議会の「一般質問論点整理ワークシート」は、政策の根拠、他の選択肢、法令、財源、将来コストなどを整理する仕組みです。議会と町が論点を共有し、根拠に基づいて議論を深めるための取り組みとして参考になりました。

●議会改革の継続性の担保

芽室町議会では、毎年度「議会活性化計画」を作成し、実行・評価・改善を繰り返していました。決算審査による政策評価を次年度予算につなげる仕組みも整えられています。栗山町議会では、議会改革を継続して調査する組織を条例に位置付けていました。

●議会を身近にするために

栗山町・芽室町の「議員の学校」は、議会の役割や予算・決算、一般質問などを学ぶ機会としてだれでも参加できる内容で開催していました。七ヶ浜町の「子ども議会」では、中学生が地域の課題を調べ、改善策を議場で提案しており、自分たちのまちを考え、意見を伝える主権者教育の大切さを学びました。

●考察

各議会に共通していたのは、改革の目的を「住民福祉の向上」に置いていることです。制度を増やすこと自体ではなく、町民の声を聴き、議論を深め、政策につなげ、その過程と結論を分かりやすく伝えることが大切です。本町議会でも、学んだ取り組みを一つずつ検証し、町民にとって身近で役に立つ議会運営につなげていきます。

これから進める議会改革

視察で得た知見を基に次の項目を研究・検討

- 1 議会改革を継続して検証・改善する仕組み
- 2 重要政策の審議に必要な説明資料の充実
- 3 町民との意見交換を政策提言につなげる方法
- 4 一般質問の論点整理ワークシート
- 5 「議員の学校」や子ども向け出前講座などの主権者教育



総務企画常任委員会

所管事務調査のテーマを「DX推進」に決定

●テーマ決定の経緯

所管事務調査のテーマを選定するため、「地方創生」「スポーツ推進計画」「防犯」「DX推進」の4テーマに関して所管課から説明を受けました。委員間で協議した結果、DXは行政運営や地域社会のあり方にも関わる重要な課題であることから、調査テーマを「DX推進」に決定しました。その後、調査研究説明資料に基づいて調査方針を決定し、先進地視察の視察先と日程の調整を進めました。

●今後の調査に向けて

DXでサービスの向上や行政事務の効率化につながるよう、利府町DX推進計画がどのように生かされているかを確認します。

本町に適したDXのあり方を調査研究していきます。



DXでつながる町の未来

産業建設常任委員会

公共施設の建替えや管理運営へ民間活力導入の研究

※1 ●PFI事業で建設した公営住宅を視察 山形県寒河江市

PFI導入可能性調査では、※2 VFMが当初2.14%と算定され、一定の導入効果が見込まれるとしてPFI方式を採用し、30戸の市営住宅が整備されました。事業者選定では、地元企業の参画を確保しながら競争性も保つ仕組みを構築しており、地域経済への波及も考慮した制度設計が参考になりました。

山形県中山町

中山町では、地元建設会社も単独でプロポーザルに参加できる仕組みを構築していました。地元企業の参画を促すためには、事業規模や応募条件、評価項目、契約方式などが過度な参入障壁とならないよう検討する必要があると感じました。また、町営住宅の建替えを単なる老朽化対策ではなく、「まちづくり施策」として位置付けている点も参考になりました。



これからのまちづくりに民間の力を活かすために

●考察

二つの自治体の視察を通し、PFI事業は単に導入するかどうかだけではなく、維持管理・運営期間を何年とするのか、どの業務を民間に委ね、どのリスクを自治体が負担するのかなど、事前に十分整理する必要があることを確認しました。PFIの目的の一つである財政負担の軽減だけでなく、地域経済への効果や将来の維持管理まで含め、十分な検討を重ねながら進めることが重要です。

教育福祉常任委員会

これからの学校のあり方の研究

●利府第二小学校建替事業を担当課と意見交換

建替事業を、将来を見据えた学校づくりの機会と捉え、構想段階から検証するため、担当課と意見交換しました。

この建替事業は、将来の人口動態なども考慮した基本計画が策定される予定となっています。

●コミュニティ・スクールの調査研究

文部科学省が推進しているコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）は、地域住民や保護者が学校運営に参画し、学校づくりを進める取り組みです。委員会では「地域とともにある学校づくり推進フォーラム」をWEB研修し研究を深めました。この取り組みは、住民の意見を反映させることや地域と一体となった学校づくりができることから、委員会としては今後の町の小学校運営に重要と考えています。



子どもたちを地域と学校で育むための協働を学びました

●今後の取り組み

コミュニティ・スクールや公共施設との一体整備に取り組む先進自治体への視察研修を行います。視察内容を踏まえ、地域と共にある学校の将来像を研究し、利府第二小学校の建替事業への提言を取りまとめます。

議会ニュース

議会報告会

議会報告会※&議場見学会を開催します



開かれた議会を目指し、町民の皆さまに議会の活動状況を知っていただき、同時に貴重なご意見などをお聞かせいただくため開催します。

●内容

1 議会からの報告

- ①令和8年6月、9月定例会の内容
- ②議会活性化の取り組み

2 参加者との意見交換

●各会場の参加に関して

参加対象地区にお住まいの方を対象としています。

●事前申し込みは不要です。

各班担当議員

A班

羽川喜富、土村秀俊、伊藤司、今野隆之、浅川紀明、須田聡宏、鈴木晴子

B班

小淵洋一郎、鈴木忠美、高久時男、金萬文雄、皆川祐治、高木綾子、郷右近佑悟

※議場見学会は会場が役場の際、終了後に開催します。

日にち	時間	会場	参加対象地区	担当班
11月7日(土)	午前10時～	利府町役場 議会棟2階	どなたでも	全議員
	午後6時～	神谷沢コミュニティセンター	神谷沢	A
11月8日(日)	午後6時～	菅谷公民館	菅谷一部・菅谷二部	B
	午後7時～	利府町総合体育館 講習室	花園・皆の丘・青葉台・菅谷台	A
	午後7時～	赤沼公民館	赤沼・須賀・浜田	A
11月14日(土)	午後1時～	しらかし台 夢民館	しらかし台	B
	午後2時～	青山3丁目集会所	青山	A
	午後7時～	森の郷	仲町・東町・藤田	B
11月15日(日)	午前10時～	利府町役場 議会棟2階	沢乙・加瀬・新中道 野中一部・野中二部	B
	午後5時～	葉山第2集会所 おひさまハウス	葉山	A
	午後7時～	利府町コミュニティセンター 大会議室	町加瀬・大町・館	B

議会ってナニ？

第1回 議会の役割・仕事の流れ・年間の主な動き

「議会や議員は何をしているのか分からない」—そんな声にお応えするため議会の役割や仕事の流れを4回シリーズで分かりやすく紹介します。

全4回シリーズ

1. 議会の役割・仕事の流れ
2. 予算と決算
3. 議員活動
4. 町民の声の反映

住みよいまちを
みんなて！



① 議会の役割

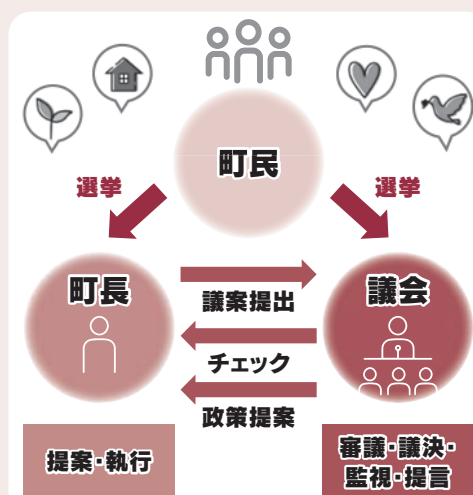
地方自治とは

私たちが暮らす地域のことを、住民自らの意思と責任で考え、よりよい地域をつくっていくことを地方自治といいます。町民全員で話し合うことは難しいため、選挙で選ばれた議員が、町民の声を聴き、地域の課題を調べ、政策を考え、議会で議論します。

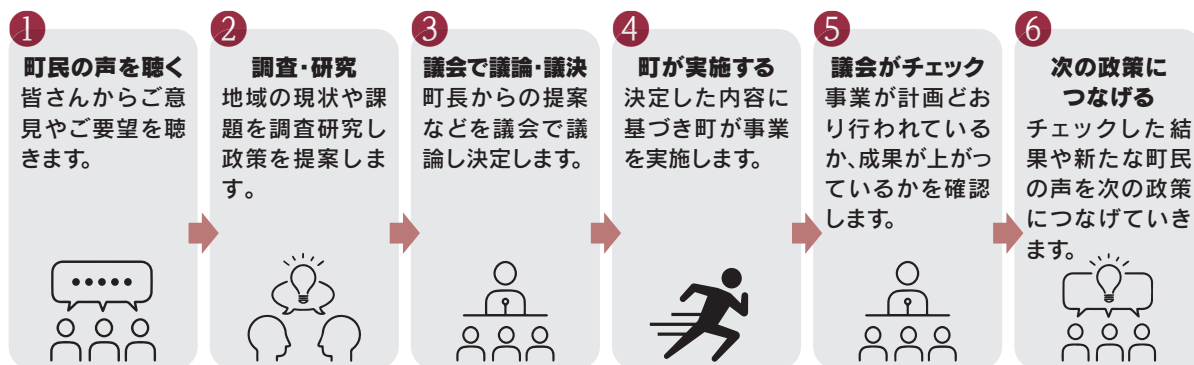
二代表制とは

町長と議員は、どちらも町民の皆さんの選挙によって選ばれます。町長は予算や条例などを提案し、町の仕事を進めます。議会は、その内容を審議し、よいかどうかを決めるとともに、町の仕事が適切に行われているかをチェックします。町長と議会が、それぞれ町民から直接選ばれ、異なる役割を担う仕組みを「二代表制」といいます。

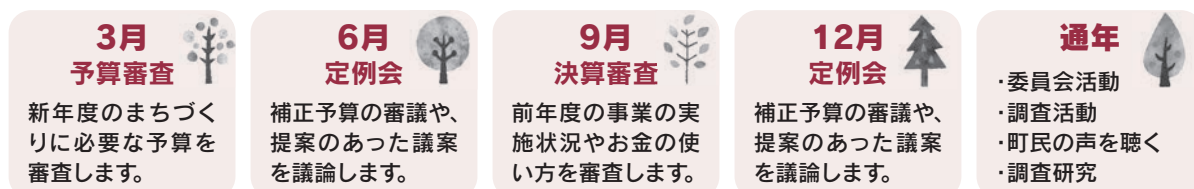
二代表制



② 議会の仕事の流れ



③ 年間の主な流れ



利府町役場 清掃スタッフ



小林さん（勤続23年） 桜井さん（勤続22年）

Q1. どのような思いでお仕事に臨んでいますか。

A1. とにかく「きれいにしたい」という思いをもって仕事をしています。何年やっても汚れを落とす効果的な方法への探求心は尽きません。先輩方がきれいにキッチリ仕事をされていたので、私たちもしっかり受け継いでいきたいです。

Q2. お仕事の中で気を付けていることは何ですか。

A2. 汚れを見落とさないことはもちろんですが、掃除機など大きい音が出る作業は開庁時間前に終わらせるようにしています。きれいに早く、時間との闘いなので必死です。



町役場の「きれい」を守る

プロフェッショナル（株式会社 東北ダイケン）

利府町役場庁舎の清潔さと心地よさは、毎日の丁寧な手仕事によって支えられています。今回は、庁舎の「きれい」を守り続けているスタッフを代表して、勤続20年以上の大ベテラン、小林さんと桜井さんを始め、4名の方にインタビューを行いました。仕事へのこだわりや気づかい、庁舎を訪れる人へ込める思いを聞きました。



Q3. お仕事で「うれしかった」「よかった」と思うことはどんなことですか。

A3. 来庁者や職員の方などに「庁舎がきれい」と言われるとうれしいです。丁寧にやってよかったと思います。

Q4. 町民の皆さんにメッセージをお願いします。

A4. 皆さんからの褒めの言葉など、お声がけをいただけてモチベーションにつながっています。これからも精一杯きれいで丁寧な仕事していきます。



隅々まで行き届いたお仕事を
いつもありがとうございます

利府町建設 災害防止協議会

町の安全・安心を築きます！

lively activities

Vol 42

いきいき
活動

元気な活動は元気なまちへ

町内で活動している団体やサークルを紹介しています。
また、議会に対する意見もいただきました。



平成14年の発足

「利府町建設災害防止協議会」は、どのような団体ですか。

町内の建設関連企業が連携し、建設現場での事故や災害を防止するための活動を行う組織として平成14年に発足しました。

現在の会員数は。

現在、37社で構成されています。

ボランティア活動

ボランティア活動をされています。活動の内容を教えてください。

地域貢献活動として、お正月に向けた門松づくりや、秋には菅谷台の山苗代調整池周辺の環境整備、12月には町内の保育園へクリスマスプレゼントを贈る活動などを行っています。

グランデイ21付近の環境整備

山苗代調整池周辺の環境整備は平成19年に始まり、今年で20年目を迎えます。除草作業とゴミ拾いを行っています。周辺



仕事も町もきれいにしたい

は、利府駅から宮城県総合運動公園へ向かう主要なルートでもあり、多くの方が通ります。きれいな環境を保つことに、やりがいを感じています。

活動で協議会の絆が

ボランティア活動を通して感じていることは。

活動が続ける中で、協議会の絆が強くなりました。また、さまざまな業種の会員と一緒に活動することで、業種を超えた交流やコミュニケーションにもつながっています。私たちの活動が、安全・安心なまちづくりの一助になればと思っています。

災害時の応急復旧活動

―災害時には応急復旧活動も担っていただいています。

平成23年3月の東日本大震災を契機に、同年4月、町内で災害が発生した際に、協議会が迅速に対応し、町の復旧活動を支援するための協定を締結しました。

町民の皆さんにも、私たちが災害時にこのような役割を担っていることを知っていただければうれしいです。

日頃からの団結を災害時に発揮

―活動する中で大切にしていることは。

一番大切に行っているのは、会員同士の団結です。日頃からしっかりと連携していれば、災害が発生した際にも迅速に行動し、それぞれの企業が持つ力を発揮することができま

「ありがとう」の聲が励みです

―活動を続ける力になっているものは何ですか。

地域の方々から「ありがとう」と声をかけていただいたときは、とても励みになります。

地域の活動にもっと目を向けてほしい

―議会や議会だよりへ一言お願いいたします。

議会だよりは、とても分かりやすく、読みやすいと感じています。

町民一人ひとりの取り組みや、地域のために続けられている活動が、町の活性化につながることもあると思います。これからも、そうした地域の活動にも目を向けていただければと思います。



安全第一・機械操作はらせてください

組織力を発揮いたします！

環境美化だけでなくクマ対策にもつながります

地域を支える活動と思っています

安全、安心な地域をつくるための大事な組織です

災害時に動く組織ですから多少の雨でも行います

草刈りは害虫の発生や火災を防ぎます

みんなの力で地域が美しくなっています



第60回 全国高等専門学校体育大会
ソフトテニス競技男子ダブルス 第3位



なかの じゅんと
中野 順斗さん
(利府西中学校出身)

声 VOICE



先を読む頭脳プレー

PRINTED WITH
SOY INK
環境に優しい大豆インキを
使用しています

インタビューテーマ

「町の鳳雛へインタビュー」

全国大会3位おめでとうございます！

ぎかい



ありがとうございます。1年次から全国大会に出場しているのですが、3年目にしようやく賞状をもらうことができました。

ソフトテニスを始めたきっかけはなんですか？

ぎかい



ラケット競技に興味があったのですが、中学校にバドミントン部がなかったのでソフトテニスを選びました。

ソフトテニスの魅力を教えてください。

ぎかい



ボールを打った時の音が好きです。また、スマッシュが決まった時は爽快です。

部長をされているということですが、練習の中での苦労は？

ぎかい



練習メニューを自分たちで考えて自主的に行っています。部長として、多くの部員が参加できるように工夫しました。

勉強との両立はどうですか？

ぎかい



部活の時間をとるためにも、授業は集中して受けています。

将来の夢はなんですか？

ぎかい



建築デザインを学んでいるので、建築施工管理に携わりたいです。

選挙や政治に対してどう思いますか？

ぎかい



自分の考えを反映させたいので選挙に行くようにしていますが、SNSなどで情報が氾濫しているので、正しい情報を見極めるようにしています。

利府町への思いを聞かせてください。

ぎかい



18歳までの医療費助成は多くの人にとって大きな助けになっていると感じます。より住みやすい町になってほしいです。

ほうすう
鳳雛とは：将来すぐれた人物になることが期待される子どものこと。



発行 利府町議会

編集・発行責任者／議長 永野 渉

編集/議会広報常任委員会

委員長 鈴木 晴子 副委員長 金萬 文雄

委員 高久 時男 小淵 洋一郎
高木 綾子 郷右近 佑悟

〒981-0112 宮城県宮城郡利府町利府字新並松4番地
TEL:022-767-2127 FAX:022-767-2110

この議会だよりは1万4700部作成し、1部あたりの印刷製本費は約46円です。



利府町議会のホームページ
もご覧ください

みんなの議会 傍聴しませんか

次の定例会は、**12月1日(火)** から **12月4日(金)**
を予定しています

議会からのお願い

取材のため、腕章を着用した議員が写真撮影に伺う
ことがあります。ご協力をお願いいたします。